

あおやま

青山もん!



あおやまちゅうがっこう

青山中学校だより

No.09

2024.1月号

発行者

青山中学校長



ねんごがっこう

がっこうじこひょうか

2023年度学校マニフェスト学校自己評価

がっこうせいかつ がっこうきょういく

けっか ようやくばん

学校生活(学校教育)アンケート結果(要約版)から



2学期末、全校生徒と保護者の皆さんに本校の教育活動推進のためのアンケートにご協力いただきました。これをもとに、学校マニフェストの達成状況等をお知らせさせていただきます。いつもの号より写真も少なく長い文章になっておりますが、ご一読いただければ幸いです。

なお、達成率(%)は、質問項目に対し「肯定的な回答」(「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計)を示しています。裏面のアンケート結果(要約版)をご覧ください。

《生徒アンケート 主な内容から》

【学力】わかりやすい授業を通して、生徒の「自己肯定感・学ぶ意欲」を

○授業がわかりやすい 目標値 85%

(昨年2学期) 96.9% ⇒ (本年1学期) 91.5% ⇒ (2学期) 92.6%

○授業に一生懸命取り組んでいる 目標値 90%

(昨年2学期) 95.3% ⇒ (本年1学期) 92.0% ⇒ (2学期) 92.0%

○自主勉強ノートや各教科の復習など、家庭学習に取り組んでいる 目標値 80%

(昨年2学期) 78.8% ⇒ (本年1学期) 75.1% ⇒ (2学期) 75.4%

【人権】人権が尊重された教育活動を通して、生徒の「自信・安心・自由」を

○自分のことを大切にしている 目標値 80%

(昨年2学期) 87.2% ⇒ (本年1学期) 85.4% ⇒ (2学期) 87.3%

○自分のことをわかってくれる仲間がいる 目標値 90%

(昨年2学期) 91.4% ⇒ (本年1学期) 90.2% ⇒ (2学期) 92.8%

○日々の生活や人権学習を通して、自分(や他の人)を大切にする生き方に学んでいる 目標値 90%

(昨年2学期) 94.7% ⇒ (本年1学期) 92.4% ⇒ (2学期) 91.5%

【キャリア】さまざまな場面でのキャリア教育の推進と、生徒の「夢・目標」の具体化を

○総合的な学習や体験活動を通して、生き方や将来について考える機会となっている 目標値 90%

(昨年2学期) 79.0% ⇒ (本年1学期) 73.4% ⇒ (2学期) 76.0%

○社会人としてのマナー(挨拶・服装・言葉遣いなど)が身についている 目標値 95%

(昨年2学期) 91.9% ⇒ (本年1学期) 91.5% ⇒ (2学期) 93.5%

1 学校自己評価結果と分析

伊賀市内の全小中学校で実践されているように、本校においても「学力向上」「人権教育」「キャリア教育」の3つを柱としながら、さまざまな教育活動を進めてきました。(次のページへ)

個性あふれる生徒一人ひとりが力を発揮できる「多彩な学校」づくりを進めるため、生徒と共に生活する教職員が対話・相談を意識し、さまざまな場面で生徒の心をほぐし、幅をもって柔軟に対応していくことを念頭にチームとして取り組んできました。保護者アンケートの中の「教職員は、子どもの理解に努め、適切な指導を行っている」（昨年90.7%⇒本年92.9%）が上回っていることも励みにさせていただき、引き続き教職員一同精進していきます。



学力の向上に関連して、これまで自由参観等において、落ち着いた騒がしい場面なども含め、授業に対し、保護者の皆さまからご意見・ご指摘をいただきました。それに対し、生徒をサポートする教職員側の責任として、一昨年度から学校全体で授業改善に取り組み、授業の進め方・板書の約束事等をはじめ「学びに向かう環境づくり」をめざしています。取組は道半ばであります。生徒アンケートの中の「授業が分かりやすい」「授業に一生懸命取り組んでいる」の数値が上がることに繋がったと考えます。

「全国学調・生徒質問紙」では、家庭学習平日2時間以上が50.9%（昨年35.3%）と高くなったものの、土日2時間以上は45.3%（昨年57.4%）に止まっています。気持ちがあっても、勉強が「苦手」「嫌い」で困っている生徒に対し「何をどうすればいいか」さらに具体的なアドバイスやサポートが必要であると考えています。タブレット活用でも効果的な手立てで家庭学習に接続していくよう「学習者の意欲の向上」について研究していきます。



人権教育については、生徒一人ひとり、保護者の皆さま、また地域の皆さまとの接し方そのものが「人権が尊重された教育活動の要」と折りにふれて教職員に確認するようにはしてきました。生徒たちの感性は鋭く、人権問題を「自分の事として」捉えていて、私たちおとながハッとさせられることがあります。学習活動においては、様々な人権問題（社会問題）解決の道筋が「自分の課題や悩みを解決する力になり得る」「自分にも関係ある」ことを実感できるよう、発問やワークシート作成において工夫を凝らし、質問・意見交流等で生徒による発信に重点を置くように努めてきました。全校集会「青中人権の集い」（毎学期に一回実施）は、各学年の学習活動の流れに沿って組み込む形で、より共感を持てる機会となりました。引き続き、「差別を解消するための3つの法律」等に基づいた学習活動を生徒とともに創り出していきたいと考えています。

キャリア教育においては、2年生職場体験学習（3日間）を、生徒のニーズを取り入れ、地元をはじめ34事業所等の協力を得て実施できました。ユーモアあふれる個人新聞が作成されるなど、キャリアビジョン形成に効果的であったことが見受けられるものの、アンケートの中の「総合的な学習や体験活動を通して、生き方や将来について考える機会となっている」の数値は目標数値を達成できていません。生徒一人ひとりが生き方や将来ビジョンを思い浮かべられるよう、どの学年でも意図的に自分の「夢・将来目標」と重ねて考える機会を設定していく工夫がさらに大切となります。例えば、さまざまな学習活動でご協力いただく講師の方々にも「今の仕事に就かれた経緯や仕事のやりがい」等について話していただくよう依頼していきたいと考えています。（次のページへ）



2 学校改善の方向性

生徒のアンケートでは、「親身になって相談にのってくれる先生がいる」（昨年92.2%⇒本年92.7%）の数値が上がったように、生徒の「心をほぐす」教育活動にさらに継続して取り組み、前述の課題をふまえ、「学力」「人権」「キャリア」の3本柱の内容の「共通項を見だし、関連づける」ことで補い合う取組を進めていきます。

① 学力向上

- ・「学びに向かう環境づくり」として、引き続き授業づくり・指導力向上のための研修を設ける。
- ・「学びに向かう環境づくり」として、家庭学習への動機づけ・支援方法について研究する。
- ・「学びに向かう環境づくり」として、ICT機器の有効活用を促進する。

② 人権教育

- ・個性あふれる生徒をさまざまな状況もふまえて理解できるよう対話・相談や家庭訪問を行う。
- ・「自分の課題や悩みを解決する力になり得る」と実感できる人権教育カリキュラムを組み立てる。
- ・教職員が人権問題を自分に引き寄せ、生徒と学習できるよう、様々な研修機会を活用する。

③ キャリア教育

- ・生徒がキャリアビジョンを形成できるよう、対話しながら個々の状況を把握していく。
- ・各学年において、意図的に自分の「夢・将来目標」と重ねて考える機会を設ける。
- ・キャリアの視点をふまえて、ゲストティーチャーや地域の方々からの聞き取りを行う。

④ その他

- ・教職員間での情報共有を迅速に、そして密にしていく。
- ・教職員間で、チームとして課題解決に取り組む体制をさらに続ける。
- ・様々な教育活動において「共通項を見だし、関連づける」ことで、働き方改革につなげる。

3 保護者の皆さま・地域の皆さまの応援のもと

保護者アンケートにおいては、manifestoに関連する項目「生徒の理解や適切な指導」（昨年90.7%⇒本年92.9%）「たよりやホームページなどで学校の様子がわかる」（昨年89.4%⇒本年89.7%）で目標値に達することができています。一方でアンケート自由記述（日頃感じていることや学校に期待すること）では、生徒たちの



様子、教職員の接し方、授業内容、進路指導、その他（タブレットの活用、駐車場等）気になることへのご意見・きびしいご指摘をいただいたことも、教職員間ですべて共有し、改善への意識化につなげていきます。引き続き「多彩な学校づくり」に向けて、参考にさせていただき、声をかけ合っています。

…あらためまして2024年もよろしくお願ひします。



青山中学校ホームページ Web(ウェブ)日記で学校の様子・さまざまな場面(ひとコマ)を投稿しています。ぜひご覧ください。

